

花の苑タイムズ

平成30年(2018年)がスタート 高崎花の苑 開設5周年に向け船出



高崎観音山丘陵にて撮影 1月1日高崎市役所21階展望ホールで撮影

平成30年1月10日発行
第40号
〒370-0002
高崎市日高町433-1
TEL:027-329-7211
社会福祉法人健全会
特別養護老人ホーム
高崎花の苑広報委員会

笑顔の苑



新年がスタートしました。皆様、あけましておめでとうございます。昨年は三号館が開所し、慌ただしく一年が経過しました。本年は、高崎花の苑開所より四年目となり記念すべき五周年へ向けに出版となる年です。関係者の皆様、本年もご指導・ご鞭撻をよろしくお願い致します。

「支援センター研修会」

高崎・安中地域の地域リハビリ広域センター研修会が二月十八日(日)十時から十一時三十分迄行われる。テーマは「これを知って誤嚥性肺炎予防!」いつでも美味しく食べ続けるために。場所は日高病院二階リハビリテーションセンター。問い合わせ・日高病院回復期リハビリ室研修係 TEL027-362-2162(一交代)

「ボランティア顕彰」

高崎市の平成二十九年福祉ボランティア顕彰の受賞者がこのほど発表され、団体の部で、高崎花の苑が推薦した「みやまハーモニカクラブ」が選ばれました。高崎市ボランティア顕彰は、長年施設や地域において福祉ボランティア活動で顕著な実績のある個人、団体を対象に実施されるものです。二月十七日に高崎市文化会館で

開催される「たかさき市民福祉大会」において顕彰されます。受賞が決まった事を受けて同クラブの広井得二会長は「今後の活動の励みにもなり、会員ともども大変喜んでおります」と話しておられました。

地域交流イベント 12月度

十二月の地域交流イベントは高崎アコースティックサークルをはじめ、沖繩三線うりずん、歌声カフェ、たかばやし民謡教室、クリスマスカラオケ大会など多彩な芸能ボランティアの皆様が活躍の場を演出してくれました。このうち、「沖繩三線うりずん」は初めての来訪で、沖繩三線の魅力を披露してくれました。



寄稿

「想い出の詩」

秋山末可

人の世は長き旅路ぞ
いつもいつも
空うららかな春ならず
冷たき雪の降る日あり
雪降らば
逆らうなかれ呉竹の
常に優しき心もて
降りつむ雪に耐え
よかし

人の世に
生きて甲斐ある
うれしきは
愛にこたえぬ愛はなし
又真心の呼ぶ声に
耳傾け人もなし

私が中学生の時、担任で国語専科のM子先生は朝の挨拶を交わすと、必ず黒板に貼られた詩を一緒に朗読させた。その後静かな口調で、「つらい時、情けない時、淋しい時はこの詩を思い出して、朗読しなさい」と言われ

た。中学卒業後、この詩を何回朗読したことだろう。雪国育ちの私にとって青春期の折々に心の支えになった。就職してからは、後輩たちにこの詩は、「冬来たりなば春遠からじ」の意味も含まれているんだと、一端の口をきいたことを思い出す。詩は心の肥しとも言われる。作詩もよし、人の詩を読むのもよし、詩を通して豊かな心を養いたいものである。

(社会福祉法人 健全会理事)

雑感手帖

加藤和昭

十二月中旬、ある人に「タバコ吸わない方がいいですよ」と言われ禁煙開始。それ以来、控え始める。心の芯から止めてもいいのだが、とりあえず休止している状態が続いている。十二月下旬、映画「タクシードライバー」を観

る。ロバート・デニロが煙草を吸うシーン。格好良すぎて吸いたくなるが、何とか乗り越える。続けて映画鑑賞する。ブランド・ピットが色気たっぷり好き放題喫煙し、ポイ捨てしまくる。その姿に怒りを覚える。後日、「パルプフィクション」を鑑賞する。ジョン・トラボルタが独特の雰囲気煙を吐き出しながら口元から煙草を離す。学生時代にあの手つきを真似したことを思い出した。そういえば、何で煙草を吸い始めたのだったか?単純に格好良かったから吸い始めたのだった。男にとって大事なこと。そう言えば、日高病院の事務長さんは事務長に就任してから、己の戒めのために人前では喫煙しないと人伝えに聞いた。「自戒する」それが出来る大人は格好良い。格好良いから真似してみることにした。

地域外出記録より

昨年十一月十六日、市内新保田中地区のカラオケグループ「すみれ会」よりご招待頂き、新保田中住民センターを訪れました。参加されたご利用者は七名で職員三名が付き添いました。今回の訪問は一昨年、昨年に続き三回目となるもので、発表会は「すみれ会」が日頃の練習の成果を発表する機会であるとともに、地域の高齢者仲間との交流を図る場として実施しているものです。当日は「すみれ会」のメンバーがそれぞれ色鮮やかな衣装を着て、自慢の喉を披露された他、参加者全員でハワイアンギターの伴奏に合わせ馴染

地域交流作品展

みある歌謡曲などを元気に歌いました。今回参加した七名のうち、K様とM様は連続三回目の出席で、「また、皆さんと会えてとても楽しかった」と話されました。現在一階二階、地域交流スペースで開催中の「和紙ちぎり絵の会」に加え、新高尾公民館「あすなろ水彩画展」を三号館二階フリースペースにて展示中です。(七名、七点の作品を展示)地域の水彩画愛好家が集う「あすなろ」は、毎月第一、第三火曜日に新高尾公民館を拠点に活動しています。地域の皆様には、お気軽に作品展示会場にご来所下さいますようお願い致します。



(水彩画あすなろ) (和紙ちぎり絵の会)

ユニットたより

「自慢の手作りケーキ」

十二月の行事で、Aユニット及びショートステイでは合同でクリスマス会を行いました。

クリスマスプレゼントは、利用者様お一人お一人に合った物を職員皆で話し合ってお用意しました。ニットキャップや温かい手袋などをお渡しすると、「ありがとうございます！」と皆さん笑顔で受け取ってくださいました。

このあとに、担当職員による自慢(?)の手作りケーキをお出しすると「とても美味しいね!」との嬉しいリアクションがありました。なかには「プレゼント返すから、もう一つ下さい」とジョークを飛ばす方も。そんな訳で、手作りケ



キを担当した職員も大変な励みとなりました。まだまだ寒い日が暫く続きますので、職員一同気を引き締めて利用者様の支援にあたっていきま

委員会

「苑内研修」より

感染症対策委員会では「ノロウイルス対策」をテーマに昨年十一月三十日、一富士フッドサービス企画課の講師スタッフを招き、苑内研修を行いました。

内容は、①発生状況②ノロウイルスの特徴③予防対策④発生時の対応等このうち、ノロウイルスの特徴についての説明の中で、初期対応の遅れが感染拡大につながった事例を通し、初期段階にお

ける適切な処置の重要性を確認しました。また発生時の対応については、様々な発生状況を想定し、適切な処理手順を実践を交えて確認しました。

一方、褥瘡委員会の苑内研修は十二月二十日、日高病院看護スタッフを講師に迎えて行なわれ、床ずれ予防の知識や対処法について学びました。

ポラントシアグループ紹介

昭和四十七年、アコイデオン愛好家達によって発足した同サークル。半世紀近くの歴史を持つ同サークルが、市民に広く知られるようになったきっかけの一つは、御巣鷹山日航機墜落事故慰霊演奏の取り組み。この慰霊演奏は三十年間続けられ、地元紙、全

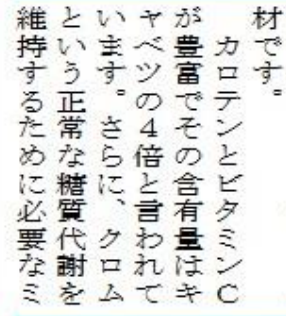


国紙にも報道され、同サークルの活動が話題を呼びました。現在、五十数名の会員がおられ、二年に一度定期演奏会を約七百人の観客を集め開催しているとのこと。一方、小規模グループによって市内の福祉施設などで年間百七十回ほど訪問演奏を行っています。

高崎市の苑には、平成二十六年の開所以来、毎年二回演奏会を行っています。ご利用者にもっとも人気のある「交流イベント」となっています。

すこやか生活日誌

皆さんプロッコリーの旬はいつか知っていますか?プロッコリーは11月から3月が旬の冬の野菜です。サラダのほかにも炒め物などにも使える食材です。カロテンとビタミンCが豊富でその含有量はキヤベツの4倍と言われています。さらに、クロムという正常な糖質代謝を維持するために必要なミ



ネラルが含まれており、これには糖尿病の予防効果が期待されます。その他にもカリウム、鉄、ビタミンKなど多くの栄養素を含んでいるのが特徴です。

ゆでるときは半分つかるくらいに水を入れ、蒸しゆでにするとビタミンの流出を防ぐことができます。

「日高病院」

日高病院の年末の恒例行事・クリスマスコンサートが十二月二十五日、



北玄関フロアで開催されました。当日は、ハンドベル演奏の他、MWSバンドによる楽器演奏があり、花の苑ご利用者も参加されました。

日高病院腫瘍センターはこのほど、放射線治療機器の最新機器「トモセラピー・ラディエーション」を導入。病院では、二〇〇六年にトモセラピーを導入し、約二千症例以上の治療実績があります。今回、導入した最新機器「トモセラピー・ラディエーション」は従来の装置と比較して①治療の適応拡大(ダイレクト照射により効果的照射が可能)②治療時間の短縮(X線紋り器が照射野を自動可変させながらの照射が可能)③最新の装置機能で治療の質の向上(最適な治療計画と治療が実現)などの治療効果を発揮します。

「腫瘍センター」

相談窓口は腫瘍センター(TEL027-3621620)まで。

「Xマスでビンゴ」

寒さに負けて家の中こもりがちになり、ついつい行動が鈍ってしまう季節。利用者様から「何か皆で楽しい事がしたいね」と提案があり、十二月だからクリスマス会を開催しよう、と即決定。H職員が家から大きなクリスマスツリーを持って来てくださり、ユニット内は一気にクリスマスモードに包まれました。

当日はリビングにて、ハズレなしのビンゴゲームで幕開けです。TV画面に映し出された数字を職員と一緒に一つずつ確認していくのですが、景品があることも拍車がかかって「今、何番って言ったの?」「こんなに穴

が開いたけどなかなか一チにならないね!」と白熱し、ついに「あっビンゴ!」と大声が。一等を当てたのは高橋様で嬉しそうに景品を受け取って下さいました。そして、おやつも初めての手作りケーキとはいきません。がたごたごたホントケーキミックスを使い、丸くて可愛らしい甘いおやつが出来ました。「作り立ては美味しいね」と皆さんに好評で職員も一安心。柴崎様より「こんなに楽しいのなら毎日クリスマスでも良いのに」とジョークも笑顔も満開でした。



また、クリスマスにはDユニットのフロアで交流イベント「クリスマスカラオケ大会」が催されました。今回はマイクを握る機会がなかったものの、Dユニット皆さんは最前列に陣取り、皆さんの声に合わせて元気に歌うなど賑やかな時間を過

す。先日、関根孝子様が八十四歳のお誕生日を迎えられ、ユニットの利用様と職員でお誕生日会を行いました。職員からのプレゼントは、Dユニット職員全員で書いた寄せ書きを差し上げました。関根様は「ありがとうございます!」と大変喜ばれていました。他利用者様も「おめでどう!」とお祝いの言葉を掛けられていました。

また、クリスマスにはDユニットのフロアで交流イベント「クリスマスカラオケ大会」が催されました。今回はマイクを握る機会がなかったものの、Dユニット皆さんは最前列に陣取り、皆さんの声に合わせて元気に歌うなど賑やかな時間を過

「おしるこ作り」

H・Iユニットでは、今回お正月も終わりといいことで「おしるこづくり」を行いました。お汁粉にして餅を食べるとい風習は、神棚に飾った鏡餅が乾燥して硬くなつてしまったものを美味しく食べ、一年の健康を願うことから始まったようです。地域によってはお雑煮にして食べることも

あるようです。利用者様には、この行事を前から楽しみにしていた方や「とても美味しかった!」と言われおかわりされる方もいて、皆さん笑顔で召し上がって頂きました。

季節に頂く食べものには、それぞれの意味合いがあり、そうしたことを利用者様から聞いたり、語ったりすることはとても楽しく思います。今回もたかが「おしるこ」ですが、さほど「おしるこ」という有義な時間を利用者様と共に過ごすことが出来ました。この一年間、利用者様が無事故、健康で過ごして下さるよう支援していきたいと思えます。(H・Iユニット S)

編集後記

★新年あけましておめでとうございます。今年こそ健康第一で大いに活躍できる年にしていきます。(K) ★利用者様との何気ない日常での会話をヒントに先日、どら焼き作り行事をやり好評でした。(N) 初詣に行ってきた。おみくじは大吉でした。皆様にとっても良い年になることを願っています。(S) ★振り返れば昨年は駆け抜けるよう過ぎて行きました。さて今年は何?(T) ★新年になり気持ちも改め、新しい目標に向かってしっかりと精進していきます。(S) ★四十号の発行となりました!ご家族やご利用者様から感想を頂く機会も増え、うれしく思います。今年も広報紙作成に力を入れたと思います。(S) ★東の漆黒の地平線をひたすら見つめ、待つこと一時間強。元旦の市役所二十一階展望ホール。広報紙を飾る二年越しの初日の出撮影。この一瞬の感激を来年も。(N)

「ユニットの年末年始」

年末年始は何となく慌ただしく感じるものですが、そんな中でもDユニ

「ユニット」(Gユニット T)